

らんま先生がやってきた！ ドキドキ♡ワクワクのサイエンスショー

5月5日こどもの日、スペシャルサイエンスショー「君ならできる『ecoな実験・パフォーマンス』」が開催されました。午前、午後ともたくさんの方に見ていただきました。講師は、テレビでも時々実験を披露されている『らんま先生』です。ショーが始まる前から、ジャグリングのコマなどを披露しながら自己紹介をされ、お客さんの期待感も高まります。本番のサイエンスショーでは、

当館でもおなじみの空気砲もありましたが、いろいろなかたちに変わるふしぎな金属の管やチョークで描いた字がロープに変身するなど、じっと見ていると「なぜ？」「どうして？」と疑問が浮かび、らんま先生ワールドに引きつけられていきます。ショーの中でお客さんが参加する場面では、子どもたちはもちろんのこと、お父さんやお母さんたちもステージに上がり、盛り上がりました。最後の大技「遠心力」の実験では、らんま先生がバランスボールで作った地球の上に立ち、黄色い容器の中に卵、赤

い飛行機の中にお水を入れ、くるくる回しました。らんま先生がバランスボールに立った時は、固唾を飲んで見守っていたお客さんも、遠心力で実験が成功して拍手喝采でした。



火星人がいるかも？！親子天文教室

6月11日に親子天文教室「火星接近！～火星生命を探る～」がありました。講師は天文アドバイザーの浅田英夫先生です。

火星に興味津々の親子ばかりでなく、多くの方が参加してくれました。まずはその日の星空解説を聞き、続いて今回のテーマである火星のお話となりました。

火星とは「火星」とくるくらい、昔から生命がいるのではないかと考えられてきました。地球のお隣の星でよく似た惑星なのです。さらに、今年は5月31日に大接近したばかり。そこで浅田先生は、接近の理由や火星生命の謎を画像や映像を見ながら詳しく説明してくれました。

探査機で知れた最新の情報や、少し前まで当たり前信じられていた情報なども踏まえ、とても興味深いお話でした。また、浅田先生のお話はとてもユニークで会場は終始笑いに包まれ、とても素敵な親子天文教室となりました。そのあとは外に出て望遠鏡で、火星を見ました。実際の



火星を見ることができ、みなさんとても感動していました。参加された方からは、「先生のお話がとても面白かった」「火星のことを詳しく知れて勉強になった」「望遠鏡で火星を見られてよかった」などの声をいただきました。

★天文トピックス★ 「流星群」



夜空を眺めていると、スッと一筋の光が横切ることがあります。流れ星です。

流れ星を見ると何となく得した気分というかラッキーな気持ちになりますよね。

そんな流れ星を効率よく見られるのが流星群です。流星群は名前の通り、流れ星が放射点と呼ばれる一点から放射状に降ってきます。流星群の期間はそれぞれで、期間中のピークの日を極大日と呼んでいます。

しかし、せつかくの極大日でも月が出ていては流れ星を見ることは難しいです。

そこで今年オススメなのが、三大流星群のひとつ「ペルセウス座流星群」です。予想極大日は8月12日前後。夜、月は南西の空に見えるのです。ペルセウス座は北東の空から昇ってくるので、条件としてはまあまあです。ぜひ、月が沈んだ後の時間帯に見上げてみてください。

7・8月のイベントガイド①

※開催のない日もありますので、くわしくはホームページをご覧ください。

★サイエンスショー(無料) 毎月テーマを決めた楽しいショーです 会場:地下パフォーマンスステージ

●土曜日 14:00～14:20 ●日曜日・祝日(夏休みの水・金・土曜日) ①10:30～10:50 ②14:00～14:20

開催期間	テーマ	笑劇サイエンスショー
7月2日(土)～7月18日(月・祝)※	冷えひえ～!大実験～ドライアイスのひみつ～	8月3日(水)～8月7日(日)
7月22日(金)～7月31日(日)※	しゃぼん玉大作戦	①10:30～10:50
8月3日(水)～8月7日(日)※毎日	笑劇サイエンスショー	②14:00～14:20
8月10日(水)～8月21日(日)※	ドカン!と空気砲	お笑い劇団 笑劇派
8月24日(水)～8月31日(水)※	冷えひえ～!大実験～ドライアイスのひみつ～	「はるか」と「あかね」が出演!

